

自作カヌーを製作

普代中の3年生13人



型枠から黄色い船体が現れた長さ4mの自作カヌー

普代中学校(木村利光校長、生徒98人)の3年生13人が自作カヌー製作に取り組んでいます。長さ4m、幅90cmのカヌーは、ガラス繊維にポリエステル樹脂を含ませて硬化させるFRP製。中央区の菊池秀一さん(58)、緑区の太田毅一さん(63)らが講師に、選択学習で技術を学ぶ3年生13人が7月中旬から取り組んでいました。

8月24日には、生徒らは船体を型枠から外し、きれいに水洗いした後、内部にも黄色を塗る作業をしました。菊池さんは「最初よりは、だいぶうまくなりました。次は待望の進水式です」と話していました。

カヌー作りは1昨年、木村校長と沼田英雄前教育長、PTAのOB会の集まりで決定。地域の人材を講師に活用する地域協働参画事業として取り組みました。

生徒たちは「全員の名前を書こう」「早く乗ってみたい」など、完成間近のカヌーに夢を膨らましていました。進水式は9月12日、普代ダムで行われました。

新しい住民の足に

12人乗りバスを2台購入

村では新しい村営バス2台を購入し、8月10日から運行しています。



8月10日から運行している12人乗りの村営バス

村では新しい村営バス2台を購入し、8月10日から運行しています。バスの更新は、老朽化や利用者の減少、経費削減のため小型化を図ったもの。これまでのマイクロバスを更新し、従来の29人乗りから12人乗り

に買い換えました。購入価格は2台で534万9千円。車両は4輪駆動車で、エアコンも装備し、新しい住民の足として安全安心の輸送を心掛けます。

運転手の島山弘さんは「シートへの乗り心地も良く、足元も広く快適ですので、皆さんぜひ、ご利用ください」と話していました。

和久恒夫氏が死去



元村議会議長の和久恒夫さん＝堀内＝が8月22日、久慈市内の病院で死去されました。83歳でした。

和久さんは昭和38年から村議会議員を8期務め、同58年から4年間議長としてご尽力されました。村農業委員長、村社会福祉協議会長を歴任し、堀内児童館長も42年間務めるなど、村政に多大な功績を残されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

役場脇のトネリコに チョウ卵165個確認

役場脇の普代川沿いのデワノトネリコに村天然記念物・チョウセンアカシジミの卵165個が確認されました。

同河川敷には、平成12、13年の2カ年、村文化財保護委員会が役場周辺でもチョウウが見られるようにとチョウウの食樹のデワノトネリコ30本を植樹。5年後となった今年、初



植樹から2年後、初めてチョウセンアカシジミの卵が見つかった役場庁舎付近の河川敷

めてチョウウが卵を産み付けました。卵は3mぐらいの高さの7本の木に産み付けられ、多いものでは1本に58個ありました。

来年の7月は役場付近でチョウが見られるかも。